# 業界最小のトラス幅を実現! 省エネ・省スペース型エスカレータを販売開始

フジテック株式会社(本社:滋賀県彦根市 社長:内山高一)は、近年のバリアフリー化に伴い、駅やさまざまな施設において、省スペース型エスカレータの設置が求められる中、業界最小のトラス(エスカレータ本体を支える構造部分)幅となる新型エスカレータ 〈スリムフィット〉を開発し、2011年8月1日から販売を開始しました。

具体的には、ステップ幅は従来機種と同じ1000mmを確保しながらも、トラス幅を200mm削減し、業界最小サイズであるトラス幅1300mmを実現しました。また、梁間寸法は115mm\*1削減、トラス深さについても80mm\*1浅くすることで、これまでスペースに制約が多かった場所への設置が容易になります。さらに、ライト部分にLED光源を採用することで、従来の蛍光灯式に比べ、照明の消費電力量は60%カットすることができ、大幅な省エネルギー化も実現します。

# 〈スリムフィット〉の主な特長

### ■ 省スペース

業界最小のトラス幅と梁間寸法を実現しました。 従来機種に比べ、トラス幅は200mm、梁間寸法は115mm\*1削減し、 狭い場所でも設置しやすくなります。

### ■ 省エネルギー

「デマケーションランプ」\*\*2や「コムライト」\*\*2にLED光源を採用することで、 従来の蛍光灯式に比べ、照明の消費電力を60%カットします。

# ■ 安全性の向上

靴や衣服の巻き込みを防ぐ「ドレスガード」\*\*2や「コムライト」\*\*2など、安全性を一層向上させる仕様を多彩に取り揃えています。

フジテックでは従来の標準型エスカレータに加え、新商品〈スリムフィット〉を新たに ラインアップすることで、国内エスカレータ市場での更なるシェア拡大を目指します。

# 〈スリムフィット〉の特長と仕様

# 1. 省スペース

#### (1) トラス幅

トラス幅は従来機種と比べ、200mm削減し、1300mmとすることで、業界最小サイズを実現しました。床面積を最大限有効活用でき、狭いスペースでも設置が可能になります。ステップ幅については、従来と同じ1000mmを確保し、利用者の利便性は変わりません。

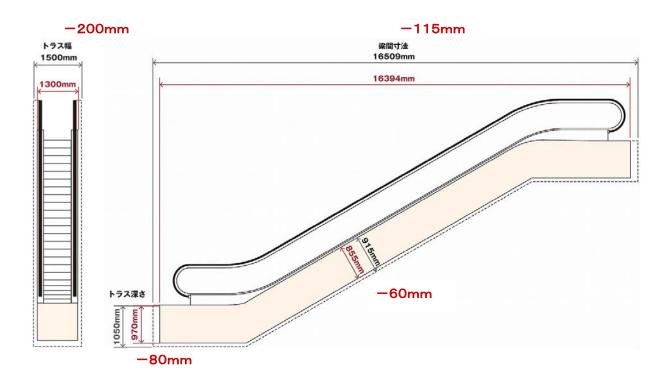
#### (2) 梁間寸法

梁間寸法は115mm\*1削減し、階高7000mmの場合、業界最小サイズの16394mmを実現しました。狭い場所でも設置しやすくなります。

#### (3) トラス深さ

トラス深さも80mm\*1浅くなり、トラス自体の体積が従来機種と比べ、 20%削減します。これにより、工事の負担が大幅に軽減し、既存建物への設置も 容易になります。

#### 当社従来機種〈GS-NX〉シリーズとの比較

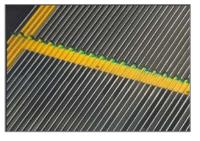


## 2. 省エネルギー

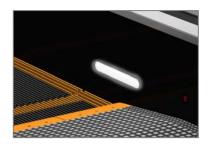
#### (1) LED光源を採用

エスカレータのステップ下部照明である「デマケーションランプ」\*\*2やスカートガード部の照明「コムライト」\*\*2にLED光源を採用することで、従来の蛍光灯式に比べ、消費電力を60%削減します。

省エネルギー化と長寿命化を実現し、ランニングコストも大幅に削減できます。



デマケーションランプ



コムライト

### (2) 反射型ビームセンサー式省エネ運転装置※2



「反射型ビームセンサー式省エネ運転装置」は、 先進のインバータ制御技術を採用しており、 2速度運転が可能です。

エスカレータの乗降部にビームセンサーを設置し、 待機運転中にセンサーが遮光され、利用者を 検知すると、定格速度まで緩やかに加速します。 また、乗客がいないときは、消費電力が少ない 待機速度で運転します。

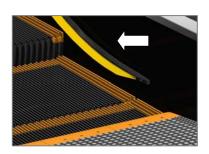
この省エネ運転を使用すると、駆動部の消費電力が30%※3削減します。

# 3. 安全性の向上

# (1) ドレスガード※2

スカートガードにブラシや樹脂製シェープを 設置することにより、靴や衣服の巻き込みを 防止するのに役立ちます。

利用者の多い、商業施設や交通機関施設に特に有効です。



ドレスガード(樹脂製シェープ)

# (2) コムライト※2

乗降口のスカートガード部に、足元を照らす「コムライト」を設置することで、 安全に、かつスムーズに乗り降りできるようになります。 このほか、安全性を一層向上させ、どなたにも安心してご利用いただけるよう、 多彩な推奨仕様を取り揃えています。



〈スリムフィット〉の全景

- 注)寸法はすべて当社従来機種〈GS-NX〉シリーズとの比較
- ※1 階高7000mm以下の場合
- ※2 有償付加仕様
- ※3 待機速度からの加速回数を15回/hとした場合

本件のお問い合わせ先: フジテック株式会社

広報室 東京本社 TEL: 03-4330-8233 FAX: 03-4330-8220

ビッグウィング TEL: 0749-30-6502 FAX: 0749-30-7055

www.fujitec.co.jp